This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

1/5/1
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2003 Thomson Derwent. All rts. reserv.

013013820 **Image available**
WPI Acc No: 2000-185671/ 200017

XRPX Acc No: N00-137203

Handheld pedestrian information providing system installed at tourist resort, outputs sight-seeing information of several spots corresponding to calculated position information of pedestrian

Patent Assignee: NIPPON TELEGRAPH & TELEPHONE CORP (NITE)
Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No. Kind Date Applicat No. Kind Date Week
JP 2000028391 A 20000128 JP 98208715 A 1998070 200017 B

Priority Applications (No Type Date): JP 98208715 A 19980708 Patent Details: Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

JP 2000028391 A 8 G01C-021/00

Abstract (Basic): JP 2000028391 A

NOVELTY - ON board computer (13) calculates current position of pedestrian, based on electromagnetic wave from GPS satellite (20). Based on sight-seeing information of several sight-seeing spots and positional information stored in memory, sight-seeing information reproduction unit reproduces sight- seeing information corresponding to calculated positional information.

USE - Is installed at tourist resort for providing guide information.

ADVANTAGE - Since ON board computer calculates positional information, sight-seeing information can be provided reliably and quickly. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure illustrates the block diagram of pedestrian information providing system. (13) ON board computer; (20) GPS satellite.

Dwg.1/6

Title Terms: PEDESTRIAN; INFORMATION; SYSTEM; INSTALLATION; TOURING; OUTPUT; SIGHT; INFORMATION; SPOT; CORRESPOND; CALCULATE; POSITION; INFORMATION; PEDESTRIAN

Derwent Class: S02; W02; W06

International Patent Class (Main): G01C-021/00

International Patent Class (Additional): G01S-005/14; G08G-001/0969;

H04B-007/26

File Segment: EPI

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2000-28391

(P2000-28391A)

(43)公開日 平成12年1月28日(2000.1.28)

(51) Int.Cl.7	識別記号	F I		テーマコード(参考)
G01C	21/00	G01C 2	21/00 Z	2 F 0 2 9
G01S	5/14	G 0 1 S	5/14	5H180
G08G	1/0969	G 0 8 G	1/0969	5 J O 6 2
H 0 4 B	7/26	H 0 4 B	7/26 E	5 K 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数10 FD (全 8 頁)

(21)出願番号	特願平10-208715	(71)出願人 000004226
		日本電信電話株式会社
(22)出願日	平成10年7月8日(1998.7.8)	東京都千代田区大手町二丁目3番1号
		(72)発明者、岸本 亨
		東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
		電信電話株式会社内
		(72)発明者 柳谷 真由美
		東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
		電信電話株式会社内
		(74)代理人 100087446
		弁理士 川久保 新一

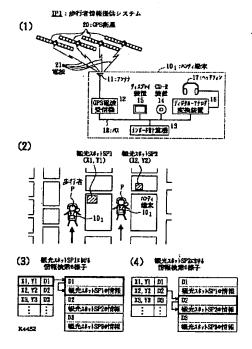
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 歩行者情報提供システム

(57)【要約】

【課題】 歩行者が多い観光地でも、観光情報を確実に 提供することができる歩行者情報提供システムを提供す ることを目的とするものである。

【解次手段】 複数の観光スポットに関する観光情報をハンディ端末の記憶装置に予め記録し、観光スポットを訪れる歩行者の位置情報を、GPS衛星からの電波に基づいて検出し、この検出された位置情報に対応する観光スポットの観光情報を記憶装置から読出し、再生することによって歩行者がガイドを受けるものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の観光スポットのそれぞれに関する 観光情報を歩行者に提供する歩行者情報提供システムに おいて、

GPS衛星から電波を受信する受信装置と;上記GPS衛星からの電波に基づいて、現在位置を計算するオンボード計算機と;位置情報と観光情報とを関連付けて蓄積する記憶装置と;上記オンボード計算機によって計算された位置情報に応じて、上記記憶装置から、観光情報を再生する観光情報再生手段と;を有することを特徴とするハンディ端末。

【請求項2】 GPS衛星から電波を受信する受信装置 と、上記GPS衛星からの電波に基づいて現在位置を計 算するオンボード計算機と、位置情報と観光情報とを関 連付けて蓄積する記憶装置と、上記オンボード計算機に よって計算された位置情報に応じて、上記記憶装置か ら、観光情報を再生する観光情報再生手段とを具備する ハンディ端末と;GPS衛星からの電波を受信する受信 装置と、GPS衛星から受信した電波に基づいて計算さ れた位置と実際の位置との差を求めることによって位置 20 情報補正用データを演算する演算処理装置とを具備する 位置情報補正局と:上記位置情報補正局が演算した上記 位置情報補正用データを放送するFM多重放送局と;を 有し、上記FM多重放送局の放送を受信する受信機が上 記ハンディ端末に搭載され、上記オンボード計算機によ って計算された位置情報と上記位置情報補正局が演算し た上記位置情報補正用データとによって、位置情報を補 正し、この補正された位置情報に応じて、上記記憶装置 から観光情報を再生することを特徴とする歩行者情報提 供システム。

【請求項3】 請求項2において、

上記ハンディ端末に、携帯電話装置とモデム装置とが搭載され、データ通信が可能であることを特徴とする歩行者情報提供システム。

【請求項4】 請求項2において、

観光情報を蓄積した大容量記憶装置と、情報サーバ装置 と、上記ハンディ端末と通信する非接触双方向通信装置 とを具備する観光スポット用送受信機が上記観光スポッ トに設けられ

上記ハンディ端末は、上記観光スポット用送受信機と非接触双方向通信を行う送受信機を有する端末であることを特徴とする歩行者情報提供システム。

【請求項5】 請求項4において、

上記非接触双方向通信を行う送受信機は、電波ビーコン を用いた送受信機であることを特徴とする歩行者情報提 供システム。

【請求項6】 請求項4において、

上記非接触双方向通信を行う送受信機は、光ビーコンを 用いた送受信機であることを特徴とする歩行者情報提供 システム。 【請求項7】 請求項4において、

上記非接触双方向通信を行う送受信機は、無線LANを 用いた送受信機であることを特徴とする歩行者情報提供 システム。

【請求項8】 請求項4において、

上記ハンディ端末は、上記非接触双方向通信を行う送受 信機から受信した情報を蓄積するハンディ端木用記憶装 置を有する端末であることを特徴とする歩行者情報提供 システム。

) 【請求項9】 請求項2において、

上記ハンディ端末は、表示装置を有する端末であるとと を特徴とする歩行者情報提供システム。

【請求項10】 複数の観光スポットのそれぞれに関する観光情報を歩行者に提供する歩行者情報提供システムにおいて

上記名観光スポットに設置され、この設置されている位置の情報を発信するサインポストと:位置情報と観光情報とを関連付けて蓄積する記憶装置と、上記サインポストから発信された位置情報を受信する受信装置と、上記サインポストから発信された位置情報に応じて上記記憶装置から観光情報を再生する観光情報再生手段とを具備するハンディ端末と;を有し、上記再生された観光情報を歩行者に提供することを特徴とする歩行者情報提供システム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、複数の観光スポットのそれぞれに関する観光情報を歩行者に提供し、ガイドの省力化を図るとともに、最新のガイド情報を簡便かつ経済的に提供できる歩行者情報提供システムに関する。

[0002]

【従来の技術】図6は、従来の歩行者情報提供システム IP10を示す構成図である。

【0003】歩行者Pに観光情報を提供する場合、従来の歩行者情報提供システムIP10は、PHS電話装置101を含むハンディ端末10を歩行者Pが携帯し、街路102に比較的多数配置されているPHS基地局103を利用するものである。つまり、従来の歩行者情報提供システムIP10は、PHS電話装置101が送出しPHS基地局103が受信した電波104の強度に基づいて、歩行者Pの現在位置を特定し、PHS電話装置101、ISDN回線105、公衆回線網106を介して、歩行者Pの特定された現在位置に対応する観光情報を、コンテンツプロバイダ107が提供するものである。

【0004】なお、ハンディ端末10は、オンボード計算機111、モデム装置112、PHS電話装置10 1、ディスプレイ113を有するものである。また、図 6において、観光スポットSP1、SP2が描かれてい る。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記従来例 は、PHS基地局103が受信する電波の強度に基づく 位置情報を利用したものであるので、その位置情報の正 確性は、概ね数百mの範囲内であり、検出された位置情 報にかなりの誤差が含まれ、したがって、観光スポット が密集する地域では、歩行者Pが存在する位置に応じた 観光情報を適切に提供することができない場合があると いう問題がある。また、必要な観光情報をダウンロード するために、歩行者Pが観光情報の検索を強いられると とがあるという問題がある。

【0006】さらに、PHS電話装置101を介した情 報提供であるので、情報の伝送速度は高々32kb/s のオーダーであり、たとえば動画等の映像情報を含む大 容量情報を得るには、ダウンロードに多大な時間を費や さざるを得ないとともに、通信に必要な費用が高くなる という問題がある。

【0007】また、上記従来例では、PHS電話装置 1 01を介した情報提供であるので、歩行者が多い観光地 20 跡、博物館、寺院等、観光の対象となる場所である。 では、回線が使用中であることによって接続できないと とがあるという問題がある。

【0008】本発明は、歩行者が多い観光地でも、観光 情報を確実に提供することができる歩行者情報提供シス テムを提供するととを目的とするものである。

【0009】また、本発明は、観光スポットが密集する 地域でも、歩行者が存在する位置に応じた適切な観光情 報を提供することができる歩行者情報提供システムを提 供することを目的とするものである。

[0010]

【課題を解決するための手段】本発明は、複数の観光ス ポットに関する観光情報をハンディ端末の記憶装置に予 め記録し、観光スポットを訪れる歩行者の位置情報を、 GPS衛星からの電波に基づいて検出し、この検出され た位置情報に対応する観光スポットの観光情報を記憶装 置から読出し、再生することによって歩行者がガイドを 受けるものである。

[0011]

【発明の実施の形態および実施例】図1は、本発明の第 構成図である。

【0012】歩行者情報提供システム【P】は、ハンデ ィ端末(携帯用歩行者情報提供装置)10, を有し、G PS衛星20からの電波を利用するものである。

【0013】ハンディ端木10、は、GPS衛星20が 送信する電波21を受信するアンテナ11、受信機12 と、現在位置の計算を行うオンボード計算機13と、現 在位置に関連する大容量情報を蓄積してある大容量記憶 装置であるCD-R (追記型のCD=Compact Disk-rec

-R装置14に記録されているデジタル情報をアナログ 情報に変換するディジタルーアナログ変換装置16と、 ヘッドフォン17と、これらを接続するバス18とによ って構成されているものである。

【0014】次に、上記実施例の動作について説明す

【0015】まず、歩行者Pがハンディ端末10,を携 帯し、GPS衛星20からの電波21に応じて、歩行者 Pの現在位置を計算する。つまり、GPS衛星20は地 球の周りに24個配置され、これらのうちの4つのGP S衛星20から受信した電波の時間遅れを求め、4次元 方程式を解くことによって、ハンディ端末10、9%存在 している経度、緯度を演算することができる。これら演 算された経度、緯度の情報が求める位置情報である。

【0016】そして、この求められた位置情報が、CD - R装置 1 4 に記憶されている位置情報と一致すれば、 この一致した位置情報に対応する観光スポットに関する 観光情報を自動的に再生し、歩行者Pに観光情報を提供 する。なお、観光スポットSP1、SP2は、名所旧

【0017】つまり、歩行者Pが観光スポットSP1に 到達すると、GPS衛星20から受信した電波に基づい て、位置情報としての経度、緯度のそれぞれがX1、Y 1であると演算され、このX1、Y1に対応する観光情 報は、図1に示すCD-R装置(記憶装置)14に記憶 されているテーブルから、D1であり、このデータD1 (観光スポットSP1の観光情報)が再生される。

【0018】同様に、歩行者Pが観光スポットSP2に 到達すると、GPS衛星20から受信した電波に基づい て、位置情報としての経度、緯度のそれぞれがX2、Y 2であると演算され、このX2、Y2に対応する観光情 報は、図1に示すCD-R装置(記憶装置)14に記憶 されているテーブルから、D2であり、とのデータD2 (観光スポットSP2の観光情報)が再生される。

【0019】上記実施例は、GPS衛星20から受信し た電波を利用しているので、位置情報の正確性は、概ね 数~百mの範囲内である。また、観光に必要な情報は、 歩行者Pが携帯するハンディ端末10, に搭載されてい るCD-R装置14に予め蓄積されているので、歩行者 1の実施例である歩行者情報提供システム 1 P 1 を示す 40 P が必要な観光情報をその都度わざわざダウンロードす る必要がない。さらに、CD-R装置14を利用して観 光情報を提供するので、音声情報以外にも動画等の映像 情報を、ダウンロードすることなく、ディスプレイ装置 15に表示することができる。

> 【0020】さらに、上記実施例では、PHS電話装置 を使用していないので、歩行者が多い観光スポットで も、回線が使用中であることによる接続不能が支障には ならず、観光情報を確実に提供することができる。

【0021】上記実施例において、CD-R装置14 ordable) 装置14と、ディスプレイ装置15と、CD 50 は、位置情報と観光情報とを関連付けて蓄積する記憶装 置の例であり、ディジタルーアナログ変換装置16と、 ヘッドフォン17とは、オンボード計算機によって計算 された位置情報に応じて、上記記憶装置から、観光情報 を再生する観光情報再生手段の例である。

【0022】図2は、本発明の第2の実施例である歩行 者情報提供システム IP2を示す構成図である。

【0023】歩行者情報提供システム【P2は、ハンデ ィ端末(携帯用歩行者情報提供装置)10,と、位置情 報補正局30と、位置情報補正用データ放送41を送信 するFM放送局40と、位置情報補正局30と上記FM 10 多重放送局40との間を接続する専用線等の通信線34 とを有し、GPS衛星20からの電波を利用するもので

【0024】ハンディ端末10、は、ハンディ端末10 , に、FM多重放送受信用アンテナ42と、FM多重放 送受信機43とが付加されたものである。

【0025】位置情報補正局30は、位置情報補正局3 りが建設されている位置の情報が予め明白である場所に 建設され、GPS電波受信用アンテナ31と、GPS電 のである。

【0026】次に、歩行者情報提供システムIP2の動 作について説明する。

【0027】まず、位置情報補正局30は、GPS衛星 20から受信した電波21に基づいて位置情報を検出 し、この検出された位置情報と、上記予め分かっている 建設位置情報との差を求め、この求められた差の位置情 報が、位置情報補正用データ(補正すべき位置情報の 値) である。

ータが、通信線34を介して、FM放送局40に送ら れ、このFM放送局40が、位置情報補正用データ放送 4 1 を送信する。

【0029】一方、ハンディ端末10,は、GPS衛星 20からの電波21に基づいて、オンボード計算機13 がハンディ端末10,の位置情報を計算する。そして、 FM放送局40から受信した位置情報補正用データによ って、上記GPS衛星20の電波に基づいて計算された 位置情報の誤差を補正し、現在位置を修正する。

【0030】上記誤差を補正することによって、歩行者 40 Pの位置の誤差が、数mオーダーに縮まる。したがっ て、歩行者Pが現在存在する位置の情報をより確実に特 定することができるので、観光スポットが密集するよう な地域においても、歩行者Pが現在存在する位置に応じ た観光スポットについてより適切な観光情報を提供する ととができる。

【0031】なお、ハンディ端末10,は、GPS衛星 から電波を受信する受信装置と、上記GPS衛星からの 電波に基づいて現在位置を計算するオンボード計算機

置と、上記オンボード計算機によって計算された位置情 報に応じて、上記記憶装置から、観光情報を再生する観 光情報再生手段とを具備するハンディ端末の例である。 また、位置情報補正局30は、GPS衛星からの電波を 受信する受信装置と、GPS衛星から受信した電波に基 づいて計算された位置と実際の位置との差を求めること によって位置情報補正用データを演算する演算処理装置 とを具備する位置情報補正局の例である。さらに、FM 放送局40は、位置情報補正局が演算した上記位置情報 補正用データを放送するFM多重放送局の例である。

【0032】図3は、本発明の第3の実施例である歩行 者情報提供システム1P3を示す構成図である。

【0033】歩行者情報提供システムIP3は、ハンデ ィ端末(携帯用歩行者情報提供装置)10,と、サイン ポスト信号51を送信するサインポスト信号局50a、 50b、50cを有するものである。なお、サインポス ト信号局50 aは、サインポスト信号局50 aが設置さ れている位置の情報を発信するものであり、サインポス ト信号局50b、50cは、それぞれ、サインポスト信 波受信機32と、位置情報サーバ装置33とを有するも 20 号局50b、50cが設置されている位置の情報を発信 するものである。

> 【0034】ハンディ端末10,は、ハンディ端末10 , において、GPS衛星20が送信する位置情報の電波 21を受信するアンテナ11、受信機12の代わりに、 サインポスト信号受信用アンテナ61と、サインポスト 信号受信機62とが設けられたものである。

> 【0035】次に、歩行者情報提供システム1P3の動 作について説明する。

【0036】歩行者情報提供システムIP3は、歩行者 【0028】そして、上記求められた位置情報補正用デ 30 情報提供システムIP1において、GPS衛星20から 電波21を受ける代わりに、位置情報を発信するサイン ポスト信号局50a、50b、50cを複数の観光スポ ットのそれぞれに設置し、歩行者Pが携帯するハンディ 端末10、に設けられているアンテナ61、受信機62 がサインポスト信号51を受信する。このように、受信 機62がサインポスト信号51を受信すると、サインポ スト信号51に含まれている位置情報に基づいて、CD - R装置14から、観光スポットに関する情報を再生 し、歩行者Pに提供する。

> 【0037】したがって、歩行者情報提供システムIP 3によれば、GPS衛星20からの電波21が届かない 観光スポット(たとえば洞窟内等の観光スポット)にお いても、歩行者Pに観光情報を確実に提供することがで

【0038】図4は、本発明の第4の実施例である歩行 者情報提供システムIP4を示す構成図である。

【0039】歩行者情報提供システム IP4は、ハンデ ィ端末(携帯用歩行者情報提供装置)10. と、コンテ ンツプロバイダ70と、公衆回線網71と、コンテンツ と、位置情報と観光情報とを関連付けて蓄積する記憶装 50 プロバイダ70と公衆回線網71とを接続する専用線等 の通信線72と、電波74を送信する携帯電話基地局7 3とを有するものである。

【0040】ハンディ端末10、は、ハンディ端末10 , において、携帯電話装置81と、モデム装置82とが 付加された端末である。

【0041】次に、歩行者情報提供システム 1 P 4 の動 作について説明する。

【0042】ハンディ端末10,は、公衆回線網71、 専用線等の通信線72、携帯電話基地局73、モデム装 置82を介して、コンテンツプロバイダ70とデータ通 10 信を行う。そして、コンテンツプロバイダ70に記録さ れている所定の情報を、ハンディ端末10、がダウンロ ードすることができる。つまり、ハンディ端末104の CD-R装置14に記録されていない観光情報を歩行者 Pに提供したい場合、ハンディ端末10.が、コンテン ツプロバイダ70にアクセスし、観光情報をダウンロー ドし、再生し、歩行者Pに提供することができる。

【0043】図5は、本発明の第5の実施例である歩行 者情報提供システム IP5 を示す構成図である。

【0044】歩行者情報提供システム【P5は、ハンデ 20 ィ端末(携帯用歩行者情報提供装置)10, と、情報サ ーバ装置91と、観光情報が蓄積されている大容量記憶 装置92と、歩行者Pが携帯しているハンディ端末10 ,と非接触双方向通信を行う電波ビーコン93とを有す るものである。なお、情報サーバ装置91と大容量記憶 装置92とが、各観光スポットに設けられている。

【0045】ハンディ端末10,は、ハンディ端末10 1 において、電波ビーコン用アンテナ95と、電波ビー コン93と非接触双方向通信を行う電波ビーコン用送受 信機96とが付加されたものである。

【0046】次に、歩行者情報提供システムIP5の動 作について説明する。

【0047】歩行者情報提供システムIP5において、 CD-R装置14に予め記憶されている観光情報だけで なく、個々の観光スポットでのみ入手可能なより詳細な 観光情報を、電波ビーコン93を介して、大容量記憶装 置92から、ハンディ端末10、がダウンロードすると とができる。

【0048】なお、歩行者情報提供システムIP5は、 電波ビーコン93を使用した例であるが、電波ビーコン 40 91…情報サーバ装置、 93の代わりに、光ビーコン、無線LAN装置を使用し ても、電波ビーコン93を使用した場合における効果と

同様の効果を得ることができる。

【0049】上記各実施例によれば、歩行者が携帯する ハンディ端末装置に搭載された大容量記憶装置に、観光 情報が予め蓄積されているので、歩行者Pが必要な情報 をわざわざダウンロードすることなく、位置情報に応じ た観光情報を自動的に利用することができる。また、大 容量記憶装置を利用した情報提供であるので、動画等の 映像情報を含む大容量情報をダウンロードするととな く、適宜利用でき、通信にかかる時間・費用に合く必要

[0050]

【発明の効果】本発明によれば、歩行者が多い観光地で も、観光情報を確実に提供することができるという効果 を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例である歩行者情報提供シ ステムIP1を示す構成図である。

【図2】本発明の第2の実施例である歩行者情報提供シ ステムIP2を示す構成図である。

【図3】本発明の第3の実施例である歩行者情報提供シ ステムIP3を示す構成図である。

【図4】本発明の第4の実施例である歩行者情報提供シ ステムIP4を示す構成図である。

【図5】本発明の第5の実施例である歩行者情報提供シ ステム「P5を示す構成図である。

【図6】従来の歩行者情報提供システム [P 1 0 を示す 構成図である。

【符号の説明】

IP1~IP5…歩行者情報提供システム、

30 P…歩行者、

SP1、SP1…観光スポット、

10,~10,…携带用歩行者情報提供装置、

13…オンボード計算機、

14…CD-R装置、

20…GPS衛星、

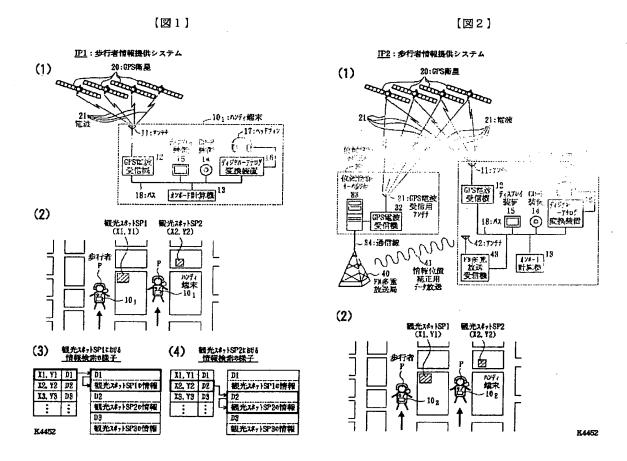
30…位置情報補正局、

50a、50b、50c…サインポスト信号局、

70…コンテンツプロバイダ、

73…携帯電話基地局、

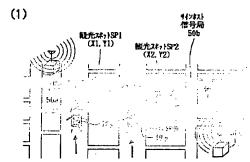
93…電波ビーコン。

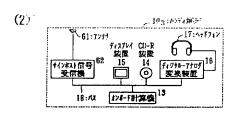


. .

【図3】

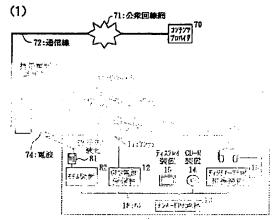
<u>IP3</u>:歩行者情報提供システム

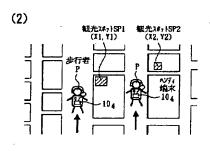




【図4】

<u>IP4</u>: 歩行者情報提供システム



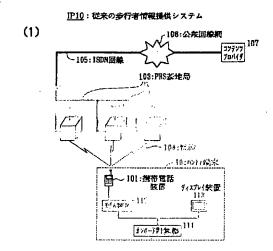


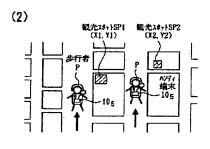
K4452

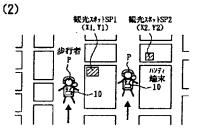
K4452

[図5]









K4452

フロントページの続き

(72)発明者 沢村 誉

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本

K4452

電信電話株式会社内

(72)発明者 杉浦 伸明

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本

電信電話株式会社内

Fターム(参考) 2F029 AA07 AB07 AC02 AC13

5H180 AA21 BB02 BB04 BB05 EE18

5J062 AA05 BB05 CC07 CC15 FF01

FF02 HH07

5K067 AA21 BB36 EE02 EE14 FF02

FF03 HH11 HH22 JJ52 JJ56

KK15

.